

観点	評価指標		自己評価						改善計画	学校関係者評価			
	項目	評価指標	評価アンケート				評価	達成状況		評価	コメント		
			生徒	保護者	職員	地域						職員 学期反 省 (参考)	
知育	1	分かるできる楽しいを実感させる授業実践	○全職員がICT活用した授業実践率が8割以上	A	/	A	/	A	A	授業が分かりやすいと答えている生徒は95%である。	「ひなたの学び」と「ICT活用たかはるモデル」を意識した授業の継続	A	分かりやすい授業を継続してほしい。
	2	生徒の学習意欲の高揚	○ 学力調査で地区平均以上 ○ 家庭学習の習慣化 ○ 生徒・保護者アンケート	A	/	A	/	A	A	やる気をもって授業に取り組んでいる生徒が83%である。	授業力の向上を目指し、個に応じた指導の充実を図る。	A	個に応じた指導を充実させてほしい。
	3	家庭学習の充実と習慣化	○ 達成感、充実感:8.5割以上 ○ 図書室貸出冊数一人1冊/月以上、不読者(一人0冊/年)ゼロ	B	B	A	/	A	B	家庭学習を計画的に取り組んでいる生徒が70%である。	家庭学習をコーディネートする力の育成とDaily workの継続指導	B	宅習りレーや家庭学習内容充実の取組は継続してほしい。
	4	読書活動の推進		B	D	B	/	A	C	貸出数は昨年度よりもやや多い5754冊(4~12月)であった。	学校司書と連携した読書推進啓発を継続する。家庭における読書の啓発	B	読書冊数の伸びは評価すべきである。
徳育	1	道徳教育・心の教育の充実	○ 不登校ゼロ ○ いじめゼロ ○ SNS等のトラブルゼロ	/	/	A	/	A	A	様々な場面で心の教育の推進を行っている割合が90%である。	道徳教育の充実	A	ローテーション道徳の取組は良い取組なので継続してほしい。
	2	特別支援教育の充実	○ 生徒・保護者アンケート ・達成感、充実感:8割以上	/	/	A	/	A	A	配慮の必要な生徒に個別に指導を行っている割合が8割以上である。	特別支援教育の充実の継続	A	特別支援教育の充実を継続してほしい。
	3	あいさつや基本的な生活習慣の定着	○ 地域アンケート ・達成感、充実感:8割以上	A	A	B	A	B	B	生徒・保護者・地域とも積極的に挨拶をしている割合が9割以上である。	いつでも、どこでも、誰とでも挨拶ができるように啓発を行う。	A	積極的な挨拶を継続してほしい。
	4	情報モラル教育の推進		A	B	B	/	/	B	約9割の生徒が情報機器の使い方のエチケットが守れているとしているが、保護者、職員は約7割である。	情報モラル教育の充実、つながるP部会との連携による家庭でのルールの設定	B	1回決めたルールであっても見直しを随時行ってほしい。
	5	生徒会活動の充実		A	/	A	/	B	A	生徒は約9割、職員は約8割であり、意識して係活動等に参加している。	各学級での活動はかなり取り組んでいるので、継続して指導を行っていく。	A	継続して指導を行ってほしい。
	6	教育相談の充実		B	A	A	/	A	A	8割の生徒が相談することができている。	相談の必要な生徒は個別に声をかけ、話を聞く等指導を継続する。	A	今後も相談しやすい環境作りに努めてほしい。
	7	人権教育の充実		A	A	A	/	A	A	思いやりをもって接することができた生徒が9割以上であった。	いじめゼロを目指した心の教育の推進を継続する。	A	いじめ講話後の紙上討論は良い取組である。
	8	教育環境の整備・充実		A	B	A	/	A	A	無言清掃ができていない生徒は約9割であるが、家庭で身のまわりの整理整頓ができていないのは約5割である。	無言清掃の指導を継続し、家庭における整理整頓の啓発を行う。	A	学校の環境美化は非常に良いので、継続してほしい。
体育・食育	1	体力向上の推進	○ 体力テスト全種目で県平均以上 ○ むし歯治療率:6割以上 ○ 残食ゼロの日:5割以上	B	B	B	/	A	B	体力が向上している生徒は約6割、保護者は約8.5割である。	2年生女子以外は県平均を上回っている。より記録が高まるように継続した指導をいっていく。	B	体力向上に向けて指導を継続してほしい。
	2	健康教育の推進	○ 料理の日3日実践:8.5割以上 ○ 朝食摂取:100% ○ 交通事故・交通違反ゼロ	A	A	A	/	A	A	健康に気を付けた生活ができている生徒が約9割である。	規則正しい生活習慣や心身両面のケアについて指導していく。	A	継続して健康に気を付けるように指導をしてほしい。
	3	食育の推進	○ 生徒・保護者アンケート ・達成感、充実感:8.5割以上	A	A	A	/	A	A	給食を残さずに食べている生徒は94%である。	偏食を減らし、料理の日に取り組ませることで食への関心を高める。	A	食育についての指導を継続してほしい。
	4	安全・防災教育の推進		A	A	A	A	A	A	ほとんどの生徒が安全に気を付けて生活できている。	交通安全については特に指導を徹底する。危険回避能力の育成を図る。	A	迎えに来られない家庭の生徒への対応について検討してほしい。
ふるさと教育	1	ふるさと教育の推進	○ 希望進路へ「全員合格」 ○ 参観日の参観率7.5割以上 ○ 生徒・保護者アンケート	B	B	A	A	A	B	町の行事が再開され、町のことをよく知っている生徒が約7割に増えた。	ふるさと高原について学び、地域行事への積極的な生徒の参画を推進する。	A	まつりの運営など地域と一体となった取組だった。
	2	キャリア教育の推進	○ 「郷土愛」:9割以上 ・達成感、充実感:8割以上	A	A	B	/	A	A	将来の事について考えている生徒が85%である。	系統的なキャリア教育ができるように継続して指導を行う。	A	職業講話などを積極的に取り入れてほしい。
	3	家庭・地域との連携	○ 地域アンケート ・達成感、充実感:8割以上	A	A	A	A	A	A	地域での挨拶は9割以上ができている参観率は66%である。	家庭・地域との連携が更に密になるよう継続して働きかけていく。	A	家庭・地域との連携が密になるよう継続して働きかけてほしい。

